

## 令和5年度 第一回千葉県学校薬剤師会研修会報告

千葉県学校薬剤師会  
常任委員 小野武弘

6月4日(日)、約300名が出席され、午前10時からオンライン形式で開催されました。

講演1では(公社)日本プールアメニティ協会の専務理事・白木俊郎氏より「学校プールの維持管理と安全」と題してご講演いただきました。

平成18年に発生したふじみ野市のプール事故を教訓に平成19年3月に国交省と文科省の連名で「プールの安全標準指針」が施行され、プール設置管理者に対して統一的な指針が示されました。これにより、同年5月に厚労省の通知も改訂され、学校のプールにも指針が適用されることになり、具体的には救命具の準備、プールサイドや通路の基準、救護室・放送設備の設置や看板・標識等の設置基準などが定められました。

水泳の三大事故には飛び込みによる頭や頸椎の損傷、排水溝への吸い込み事故、深みにはまって溺水・離岸流があります。飛び込み事故防止の為、水深の基準が定められたり、夏季の学校プール解放時の監視員配置のガイドラインについての解説がありました。プール水の水質維持に必要な装置についての解説があり、各種ろ過機の原理やろ過循環の系統図の説明もありました。水質維持には残留塩素濃度の測定・維持が必須になります。その為の塩素剤種類、気候条件や汚染度合(濁度)による薬品投入や循環ろ過時間の解説をしていただきました。

プール管理日誌に天候・気温・水温、残留塩素測定結果、遊泳者人数等を記録することにより、プール管理技術向上の参考にすることが大切です。

プールシーズン前後(水を抜いた状態)の点検を、チェックシートを作成して行い、これを3年間保管することになっています。具体的には①プール本体

のタイル面等の破損②プールサイドの地盤沈下・形状変化③プール備品のワイヤー・フロートの異常や破損④ろ過装置の水漏れ・ろ材の詰まり⑤塩素滅菌器の作動確認・異常音・薬品管理⑥排(環)水口のボルト・ネジ固定と吸い込み防止金具の確認です。また日々の始業前点検に必要な項目の説明もしていただきました。

プールにおける感染症や熱中症、またこれらを予防するための解説をしていただきました。感染症予防については、プール水の残留塩素数値の維持と遊泳後のうがい手洗い、シャワーの励行が重要となります。

講演2では(公社)日本薬剤師会学校薬剤師部会部会長、熊本県薬剤師会会長の富永孝治氏に「災害支援とコロナ対策から見てきた学校薬剤師活動」と題してご講演いただきました。

近年、地球温暖化による自然災害や新興感染症の発生がありますが、学校薬剤師は毎年二酸化炭素濃度を計測していて、温暖化を学校薬剤師は知っていました。1985年には340ppmだったものが右肩上がりに上昇し2020年には410ppmを超えています。

災害時、学校が避難所になり薬剤師は医薬品の供給、生活支援(健康相談・OTC等)、学校再開へ向けた活動などを行いますが、環境衛生検査については薬剤師しかできない仕事となります。それは、避難所の粉塵、二酸化炭素(換気)、水質などの検査です。

熊本地震や令和2年7月豪雨では、避難所で薬剤師が服用薬を聞き取り、それを基に処方箋を書いてDMATの医師に印をもらうといった形で災害支援活動を行ったこともありました。

熊本地震時、担当小学校に行くと、大量の支援物資の整理ができず、その中に埋もれていた養護教諭が「私は、人間が信用できなくなりました」と言っていました。理由は避難者の強い要望で保健室を解放させられ、避難者やボランティアの自由な出入り、引き出しや戸棚は勝手に開けられ散乱状態で体温計や医薬品はもちろん、AEDや寝具まで勝手に使われていました。

支援物資の中には、一般用医薬品や医療用医薬品もあり、必要なものは自己判断で使用してくださいという形で野放しになっていて、その為、熊本県薬務課より熊本県薬剤師会に医薬品の仕分・管理・指導・助言を行うように依頼がありました。避難者は極限状態の中、助け合いのこともあり、薬を知らない避難者たちはお互いに薬を融通しあったり湿布を貼ったまま炎天下で作業してかぶれたり、睡眠導入剤の使用で寝てばかりいてエコノミークラス症候群を発症したりと、医薬品の乱用状態にありました。そこでくすり教育の重要性を強く感じました。知識を得るためではなく、薬を必要としたときにリスクとベネフィットを判断できる能力を養うことが必要です。子供のころは学校で学び、成人は薬局や病院、終末期は在宅で、切れ目のない「くすり教育」を一生を通じて行うことが大切です。オーバードーズの問題も、くすり教育により一次予防からの乱用防止教育ができます。

これからの薬局・薬剤師が果たす役割は国民のライフステージ全てを通じた、薬剤師による健康サポート、服用薬の一元的・継続的・全人的な管理指導が必要になります。